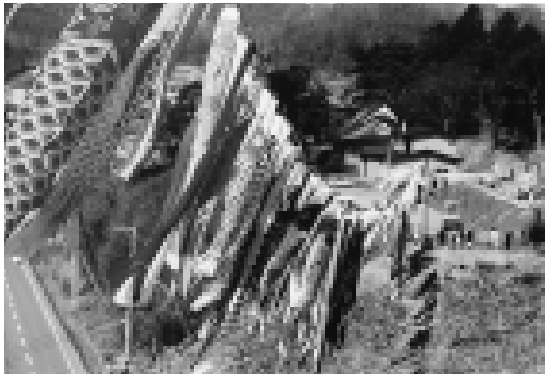




久しぶりにパークゴルフを楽しむ愛好者



黄色いランドセルカバーをもらう一年生



一斉に揚げられた鯉のぼり



鯉のぼりを揚げる準備を行う皆さん

みんなで交通ルールを守ろう

交通安全運動を推進

春の全国交通安全運動が、四月六日から十五日まで実施されました。

洞爺村でも交通安全村民運動推進委員会が、保育所児童や小学一年生に、黄色の帽子やランドセルカバーなど安全グッズを贈り、交通安全の啓発に努めました。

期間中毎朝、村交通指導員や先生、村職員らは駐在所と連携した路上指導や広報車で交通安全を訴えました。

洞爺ふれあいパークがオープン

四月二十三日、小雪が時折舞う日に、洞爺ふれあいパークがオープンを迎えました。寒さのためこの日は訪れる住民は、見られませんが、翌二十四日は一転して晴れ渡り、午前十時過ぎには二組のグループがパークゴルフを楽しんでいました。

久しぶりのためか、皆さん本来の感覚を取り戻してない様子でしたが、澄んだ空気のおかげで、ボールをたたく心地よい音が響いていました。

青空に泳いだ鯉のぼり

この数年この時期に、五月の子どもの日にちなんで、洞爺寺の駐車場の端から財田方向の道路沿いに、大量の鯉のぼりが連なり、住民や観光客の目を楽ませています。

今年も、四月二十四日午前九時前より、財田の清本博三さんほか洞爺に鯉のぼりを飾る会の有志、親子連れ十数名が集まり、作業を始めて二時間ほどで、鯉のぼりの大群が一斉に晴れ渡った青空を泳ぎました。

村内の各家庭などから譲り受けた鯉のぼりは、百メートル以上の長さのワイヤーに適度な間隔でしっかりと結ばれ、重機で引き上げられると、作業していた皆さんの歓声が沸き起こっていました。